

2022 年秋学期/マーセッドカレッジ 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

少人数クラスで TOEFL の問題集を解いて、間違えた問題は理解が出来るまで先生が解説をしてくれました。

TOEFL の勉強のみ

授業は基本的に座学を中心に、リーディング、リスニング、文法にわかれてそれぞれ担当の先生の講義を受講していました。

TOEFL の対策を重点的にする授業が多かったです。科目としては三つの項目に分かれていて Listening, Grammar, Reading のこの三つをおこなっていました。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

日本人 7.8 人構成で 1 人だけ 1 週間ほど中国人の留学生がいました。

ネイティブはいない。外大生含めて日本人 7 人くらい、一時期中国人 1 人居た

授業は基本日本人だけでした。人数は多くても 10 人ほどでした。

クラスは全員日本人でした。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

とても雰囲気が良く、みんなの仲も良かったので先生に解説を聞いてもわからない問題などはお互いに助け合って解いていました。

外大の授業とあまり変わらない

クラスの雰囲気はとても良く、みんなと楽しみながら授業を受けることが出来ていいと感じます。

私が受けていたクラスでは意識の高い子と低い子によってかなり差があったので各自が思うように自由におこなっていた印象があります。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

中国人の英語学習がすごく熱心なこと

特にこれといったものは正直ないのですが、日本の文化の違いについて話すトピックは面白かったです。

特にこれといった印象に残ったトピックはないのですが先生たちも自分達が楽しく英語を学べるように授業の工夫をしてくれてとても先生に対して良い印象があります。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

積極的に発言すること、間違えることを恐れないことを意識していました

日本人とも英語で話す

授業には日本人しかいなかったのが友人間での会話は、はじめ日本語を使ってしまうが多かったのですが、みんなで学校では英語だけで会話するなどスピーキングも練習できるような環境づくりを努力していました。

私は日本語を使わないようにすることをかなり意識していました。周りの意識の低い人たちにレベルを合わせずにいることにかなり意識しました。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの国の人でしたか。
1人(2人)	日本
0人(2人)	-

通学手段	通学時間	主に食事はどこでとっていましたか。
自転車(4人)	0~15分(2人)	ホームステイ先(3人)
	15~30分(2人)	大学内のカフェテリア(1人)

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
ベッド、棚、机、椅子、ハンガー、枕、布団、ブランケット、鉛筆、消しゴム、ストーブ、ライト、ノート、運動マット、歯ブラシ、ドライヤー、手拭きタオル、洗濯カゴ、ヘアアイロン、歯ブラシ	シャンプー、リンス、トイレトペーパー、体重計、洗濯ネット、洗剤、柔軟剤、風呂のタオル、スリッパ
だいたい揃ってた	シャンプー、柔軟剤、タオル
机、いす、ベッド、洗濯入れ、収納ボックス	柔軟剤、洗剤、シャンプー、リンス、トイレトペーパー、水
テレビ、鏡、マスク、レインコート、トイレトペーパー、スナック菓子、毛布、ベッド	ドライヤー、自転車

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。
洗濯機の使い方、キューブ型の洗剤を使っていたのですが白い服がグレーにシミになりました。ネットで調べてみたところ、水の量や温度が問題だったのではないかと思います。改善はできませんでした。また、多くの日本人留学生の友達たちも同じことを言っていました。あと、本当に小さな虫刺されがアブに刺されたかのような大きな虫刺されに変わりとてもとても痒かったです。
まず玄関で靴を脱がないという文化にびっくりしました。後水の価値が日本と違うので洗濯の回数がかなり制限されることも受け入れるのにかなり時間がかかりました。
お風呂、食生活、トイレ

ホームステイ生活を快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。
ホストファミリーとはたくさん話して、リアクションはしっかりすることや学校であった出来事、イベントに参加したり、何かが起こったらすぐに相談することが大切だと思います。
まずはホストファミリーが提示するルールを守りましょう。そしてわからないことがあればなんでも彼らに連絡をしましょう。コミュニケーションを取ることとても大切だと思います。
ホームステイ先の人とは毎日何でもいので会話を積極的に行って仲良くなるべきだと感じました
楽しむこと

パソコンは持参しましたか	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい(4人)	日本からSIMカードを持参(3人)	ワイヤレスで可能(3人)	いいえ(4人)
	日本の携帯をそのまま持参(1人)	LANケーブルで可能(1人)	

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
授業の聴講で体育を週 5 でとっていました。	ジムにも通って運動で気分を晴らしていました。他にも車を持っている友達たちにさまざまな所に連れて行ってもらい、遊んでいました。
毎週木曜日にはカンパセーションサークルがあり現地の人と英語を用いてゲームをしたり会話をしていた。	インシェイプ(ジム)
大学のサークルに入っていました。アメリカの地政学について話し合うサークルでみんなが積極的に話し合う姿を見てとても勉強になりました。	近くのカフェやバーガーショップやモール、スーパーなどよく利用していました。
	図書館によく行っていました。チュウターという学業の成績がいい学生が行うバイトをしている人と英語の練習を兼ねてよく喋っていました。

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
文法の勉強。
留学の買い物
バイトでお金を貯めました

留学前にしておけばよかったと思う準備
文法や単語の復習。
ひたすら座学はしていったほうが良いと思います。そうでなければ海外に行った時にかなり後悔するからです。
文法とか
単語学習とバイト

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの
レンジでできるお米やふりかけやみそ汁は役に立ちました。
キットカットとか折り紙お土産にして喜んでた
日本食です。海外の人に配ると大変喜ばれるので是非たくさん持っていくと良いと思います。
薬類

日本から持っていく必要のなかったもの
タオルは 2 枚用意してくれてたからちょっと持って行き過ぎた。円安で何でも高かったからシャンプーとかは日本で用意してよかった
基本的にアメリカのものより日本製の物のほうが良品が多いのでいらぬものはないと思います。
ドライヤー、歯ブラシ、歯磨き粉
ドライヤー

日本から持参すればよかったと思ったもの
アウターや防寒具
体重計、ボディクリーム、服、靴下もつと

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくらぐらい準備しましたか。
クレジットと現金 500 ドル	クレジットカード上限不明、現金 500 \$
基本的にはクレジットカードで支払うようにしました。現金は 500 ドルだけ持っていきました。	私は合計 50 万円ぐらいだと思います。
大学内どこでもクレジット使える	現金は 7 万分くらい。友達との割り勘や途中めっちゃ円安になったときに使った
クレジットメインで現金は必要であればキャッシングしてました。	トータルで 50 万円ほど

現地で支払った住居費と食費を教えてください。	テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。
食費 35000 円、住居費 2 万ほど？	0
住居 食費で約7~8万円	自転車を 90 ドルくらいで購入した
食費はホームステイ費に含まれていたのあまりたくさん使っていない気がします。住居費はプログラムに含まれていたの具体的な金額はわかりません。	特にお金はかかっていません

旅行(大学主催以外)をした場合の期間、費用、行先、手配方法など
LA に旅行に行きましたが、7 人で宿泊費は 1 人約 4000 円、レンタカー代で約 1 万円、ガソリン代や駐車場代で 4000 円、食事代などで 1 万円ちょっと、遊び代や買い物代で約 2 万五千円ほどでした。
LA やサンフランシスコ。アメリカ人外大生じゃない日本人の友達の車で行った
自由時間では家ではネットフリックスをみて英語になるべく触れ合えるようにしていました。旅行はサンフランシスコであったりロサンゼルスに行きました。その場には車で友人などに連れて行ってもらったので費用などは参考にはならないと思いますが、食費にすごくお金がかかった印象があります。
ロサンゼルスとサンフランシスコにいきました。費用についてはどんな行き方で何をやるかによってかなり変わりますが今は円安の影響もあってかなり高かったような記憶があります。

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。
30 万くらい
旅行ショッピングなどに 20 万円ほど使いました
・旅行 2 回(約 20 万)・外食・お土産の購入その他諸々(約 20 万)
600 ドル

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析
リスニング力やコミュニケーション力が向上しました
リスニングは前よりできるようになった気がする
全体的に英語能力は底上げされたと思います。
自分から行動をとるという行動力が身につきました。海外では自分からアクションを起こさなければ誰も助けてくれません。自分の身を守るためにも積極的に行動をする癖が身につきました。

留学前の目標とその達成度

100

楽しむことが目標だった達成できた

留学前には現地の友人とすらすら話せるようになりたいという目標がありました。1学期の留学でその目標はかなり実現できたかなと感じています。

留学前の目標は全ての英語を聞き取れるようにすることでしたがその達成度はかなり低かったです。そやはり難しい話題などは内容を理解することはかなり難しかったです。

留学を通しての成長ポイント

人への気持ち

英語能力はもちろんですが、積極的になれたと感じます。

簡単な日常会話

先ほども書きましたが自分から行動する癖ができました。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

留学中の方がモチベーションは低かったと思います。行く前や帰った後の今の方が高い気がします

もっと勉強して喋れたらもっともっと楽しいだろうなって思った

留学後に改めて英語を勉強したいなと感じました

モチベーションはずっと高いままでした。自分の英語力の低さに毎日悔しい思いをしていたので毎日自分に反省させるように勉強していました。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

常に100でした

常に

ボランティア活動に100%の力を注ぎました。

成績に関わるプレゼンであったりスピーチであったり、あとは遊ぶことです。

留学先大学の良かった点

とにかく人に恵まれていました。

交通手段は少なかったが車持ちの友達ができたら色んなところに行ける

たくさんありますが何と言っても歳が近い生徒が多かったのでその部分はとても良かったと思います。

先生、生徒、住んでいる人々が信じられないほどやさしい人たちしかいない